

# 社会科学習指導案

授業仮説（本時3時／単元7時間中）

東京大都市圏の形成やその拡大にともなう都市問題や対策について話し合う場面において、各自で調べたことをもとにジャストジャンプクラスの学び合い機能を活用しながら意見交換したり、各班の意見を比較・関連付けたりすることは、東京周辺が人口集中による都市の課題を緩和するために交通網や住宅地、都市機能を整備してきたことを理解することに有効であろう。

## I 単元

### 1 単元名 地理的分野 第2部 第3章5節「関東地方」

#### 2 単元の目標

〔社会的事象への関心・意欲・態度〕

関東地方の単元の学習課題の解決に向け、自然環境、交通・通信網、産業などを基に地域的特色について意欲的に追究することができる。

〔社会的な思考・判断・表現〕

関東地方の地域的特色をまとめ、説明する活動を通して、他地域との結び付きを中核として多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。

〔資料活用の技能・表現〕

関東地方に関わる、地図やグラフ、写真等の資料を基に、関東地方の他地域との結び付きなどの地域的特色を具体的に読み取ることができる。

〔社会的事象についての知識・理解〕

関東地方の自然環境、交通・通信網、産業の発達とその影響についてまとめ、説明する活動を通して、関東地方の地域的特色を理解できる。

#### 3 単元の評価規準

〔社会的事象への関心・意欲・態度〕

関東地方の単元の学習課題の解決に向け、自然環境、交通・通信網、産業などを基に地域的特色について意欲的に追究している。

〔社会的な思考・判断・表現〕

関東地方の地域的特色をまとめ、説明する活動を通して、他地域との結び付きを中核として多面的・多角的に考察し、適切に表現している。

〔資料活用の技能〕

関東地方に関わる、地図やグラフ、写真等の資料を基に、関東地方の他地域との結び付きなどの地域的特色を具体的に読み取っている。

〔社会的事象についての知識・理解〕

関東地方の自然環境、交通・通信網、産業の発達とその影響についてまとめ、説明する活動を通して、関東地方の地域的特色を理解している。

## II 考察

### 2 教材観

本単元は、中学校社会科学習指導要領の2内容の(2)のウ「日本の諸地域」にあたり、「日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域について、単元構想中の(ア)～(キ)で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。」のうち「(キ)他地域との結び付きを中核とした考察～

地域の交通・通信網に関する特色ある事象を中核として、それを物資や人々の移動の特色や変化など  
と関連付け、世界や日本の他の地域との結び付きの影響を受けながら地域は変容していることなど  
について考える～」ことをねらいとしている。

関東地方には人口が集中しており、産業が発展し、日本の政治・経済の中心地となっている。  
特に首都、東京にはさまざまな機能が集中し、大学などの教育機関が多く集まるなど文化や情報の  
中心にもなっている。それらが東京を中心として発達した交通網によって地域内、国内の各地・  
方、さらには海外と強く結び付き、影響を与えていく。また、交通網の整備によって各種産業が発  
達し、中心部の地価の上昇とも相まって人口が変化してきた。群馬県民である本学級の生徒にとっ  
て、東京は鉄道や高速道路などの交通網でつながっている地域でもあり、身近で高い関心をもち学  
べる事象となる。また、工業地域や近郊農業の生産地の変化と発達する交通網と比較したり、東京  
の都市機能と住環境とを比較したりしながら、交通網の発達が中心地域及び周辺地域にどのような  
影響を与えるかを多面的・多角的に学ぶことができると考え、本単元の学習を設定した。

### Ⅲ 指導方針（○は全般的なもの、●は校内研修と関わるもの）

〔社会的事象への関心・意欲・態度〕

○関東地方の学習についてより関心を高められるように、今まで行った関東地方内の旅行先や校  
外学習の経験なども思い出させる。

●話すことが苦手な生徒発表が話し合いに参加できるように、ネットワーク経由での会話機能を使  
う。

〔社会的な思考・判断・表現〕

○関東地方の特色や諸問題を考える活動の場面で、多面的・多角的に考えることができるように、  
分担して調べたことを関連付けたり、比較したりする時間を多めにとる。

●「個別学習」→「グループでの意見交換」→「まとめる」という学習プロセスの中で、意見交換  
をスムーズにするため、ジャストジャンプクラスの学び合い機能を活用する。

〔観察・資料活用の技能〕

○課題解決のために必要な情報を探しやすくするために、インターネット検索の際は初めに利用す  
るWeb ページを提示する。

○関東地方の特色を調べる際に、効率的に情報を収集できるようにするために、「交通網」「地形」  
「地価」などを分担して調べさせる。

〔社会的事象についての知識・理解〕

○学習内容の定着、深まりのために、単元及び単位時間において学習内容を全体でまとめたり、振  
り返る時間を設定したりする。

IV 本時の学習（全7時間 本時は3時間目）

1 ねらい

現在の東京大都市圏が形成されるまでの経緯を話し合い、整理する活動を通して、東京周辺が人口集中による都市問題を緩和するために交通網や住宅地、都市機能を整備してきたことを理解する。

2 準備（コンピュータ室のため、生徒1人に対し1台のPCが利用可能）

- ・生徒教：教科書 社会科ファイル（ワークシートなどを綴じ込むもの） 筆記用具
- ・教師：ワークシート PowerPoint（板書・学習指示用）

3 展開

過程	学 習 活 動 ※予想される生徒の反応	時間	支 援 ・ 指 導 上 の 留 意 点 ☆支援を要する生徒への手立て
問 い を も つ	①本時のめあてをつかむ。  めあて 現在の東京大都市圏は、 どのように形成されてきたのだ ろう？	5	○東京大都市圏が戦後数十年間で大幅に拡大した ことを理解するとともに、本時の見通しをもて るように、NHK for school の関連サイトでそ の内容を確認させる。
自 力 解 決	②東京大都市圏が高度経済成長期から 現在までどのように形成されてきた のかその経緯をワークシートにまと める。 <b>S1 人口が集中して、地価が高くな った。</b> <b>S2 住宅地の開発が、都心を中心に 放射状に広がった。</b>	10	○教科書のどの部分を使ってまとめるかを 把握できるよう、全員に教科書を一読させてか ら、ワークシートに記述するよう促す。 ○経緯を整理しやすいように、ワークシートにキ ーワードを示しておく。 ☆パソコンを触らずにワークシートへ集中させる ために、生徒用パソコンはロックをかける。
集 団 解 決	③東京大都市圏の拡大の経緯やそれに 伴う都市問題や対策について話し合 う。  評価の観点 ○東京大都市圏の拡大の経緯やそれに伴 う都市問題と対策について多面的・多 角的に考察し、表現している。〔記述 分析〕〈思〉  ④代表の班の発表を聞き、東京大都市 圏の拡大の特色や共通点について話 し合う。	20	○東京大都市圏の拡大について整理するために、 地図を活用するよう指示する。 ○調べたことを整理・共有できるように、ジャス トジャンプクラスの「模造紙ツール」を活用 し、キーワードを「付箋紙」に記入させる。ま た、それぞれの「付箋紙」同士の関連がわかる ように、「模造紙」に貼り付けた「付箋紙」を 矢印で結び付けるようにする。 ○まとめたものを見やすくするために、付箋紙の 色を以下のように指定する。 政令指定都市 … 黒 ニュータウン … 黄 再開発都市 … 赤 都市問題 … 青 都市問題への対策 … 緑 ○本時のまとめにつなげるために、都市問題との 関連を考えさせ、特色や共通点をキーワードで 示す。

まとめ	⑤本時のめあてに対するまとめをする。	10	○より多くの意見をもとにまとめることができるように、各グループが作った「模造紙」を確認させる。
<p>まとめ 現在の東京大都市圏は人口の集中による住宅不足・地価上昇などに対して、首都機能や人々を分散させるために、再開発やニュータウン建設、交通網の整備などを行うことで拡大してきた。</p>			
振り返り	⑥現在も東京大都市圏は拡大し続けていることを知り、今後の東京大都市圏の展望について、本時の学習を基に考える。	5	○高崎市の機能に目を向けさせるため、最近開発が進む高崎駅周辺の高崎アリーナや文化施設などの整備の情報を提示する。

#### 振り返り

東京大都市圏は、人口が増えたことで起きた様々な課題に対するために、いろいろな工夫がされて現在の形になったことが分かった。今後も人口が増え、もしかしたら高崎市も大都市圏に含まれる日が来るかもしれないと思った。高崎アリーナや文化施設だけでなく、学問や政治分野でも機能しうる都市になるとよい。

単元構想 社会科 2年(地理的分野) 第2部第3章5節 「関東地方」 11月 全7時間予定

単元の目標 ●〔社会的事象への関心・意欲・態度〕 関東地方の単元の学習課題の解決に向け、自然環境、交通・通信網、産業などを基に地域的特色について意欲的に追究することができる。 ●〔社会的な思考・判断・表現〕 関東地方の地域的特色をまとめ、説明する活動を通して、他地域との結び付きを中核として多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。 ●〔観察・資料活用の技能〕 関東地方に関わる、地図やグラフ、写真等の資料を基に、関東地方の他地域との結び付きなどの地域的特色を具体的に読み取ることができる。 ●〔社会的事象についての知識・理解〕 関東地方の自然環境、交通・通信網、産業の発達とその影響についてまとめ、説明する活動を通して、関東地方の地域的特色を理解できる。																											
単元の系統	小学校5年 わが国の国土の様子と産業		中学校2年地理的分野 第2章 世界と比べた日本の地域的特色 ・自然環境(雨温図の読み方など) ・人口(人口ピラミッド・過疎過密) ・資源や産業 ・地域間の結び付き		3年次 公民的分野 グローバル化 情報社会																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地方</th> <th>中核とした考察</th> <th>取り扱う主な地理的事象(個別事象)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州地方</td> <td>(7) 自然環境</td> <td>火山、シラス台地、台風、リアス式海岸</td> </tr> <tr> <td>中国・四国地方</td> <td>(8) 人口や都市・村落</td> <td>100万人都市、政令指定都市、過疎地、少子高齢化</td> </tr> <tr> <td>近畿地方</td> <td>(9) 環境問題や環境保全</td> <td>歴史的風土、景観保護、琵琶湖、世界遺産</td> </tr> <tr> <td>中部地方</td> <td>(10) 産業</td> <td>果樹、野菜、茶、米、自動車、伝統工業</td> </tr> <tr> <td>関東地方</td> <td>(11) 他地域との結び付き</td> <td>首都高速、新幹線、地下鉄、アクアライン、羽田・成田空港</td> </tr> <tr> <td>東北地方</td> <td>(12) 生活・文化</td> <td>史跡、城下町、伝統産業、祭り</td> </tr> <tr> <td>北海道地方</td> <td>(13) 歴史的背景</td> <td>開拓使、屯田兵村、区画整理された農地</td> </tr> </tbody> </table>					地方	中核とした考察	取り扱う主な地理的事象(個別事象)	九州地方	(7) 自然環境	火山、シラス台地、台風、リアス式海岸	中国・四国地方	(8) 人口や都市・村落	100万人都市、政令指定都市、過疎地、少子高齢化	近畿地方	(9) 環境問題や環境保全	歴史的風土、景観保護、琵琶湖、世界遺産	中部地方	(10) 産業	果樹、野菜、茶、米、自動車、伝統工業	関東地方	(11) 他地域との結び付き	首都高速、新幹線、地下鉄、アクアライン、羽田・成田空港	東北地方	(12) 生活・文化	史跡、城下町、伝統産業、祭り	北海道地方
地方	中核とした考察	取り扱う主な地理的事象(個別事象)																									
九州地方	(7) 自然環境	火山、シラス台地、台風、リアス式海岸																									
中国・四国地方	(8) 人口や都市・村落	100万人都市、政令指定都市、過疎地、少子高齢化																									
近畿地方	(9) 環境問題や環境保全	歴史的風土、景観保護、琵琶湖、世界遺産																									
中部地方	(10) 産業	果樹、野菜、茶、米、自動車、伝統工業																									
関東地方	(11) 他地域との結び付き	首都高速、新幹線、地下鉄、アクアライン、羽田・成田空港																									
東北地方	(12) 生活・文化	史跡、城下町、伝統産業、祭り																									
北海道地方	(13) 歴史的背景	開拓使、屯田兵村、区画整理された農地																									
時間	ねらい	主な学習活動	主な支援・指導上の留意点 (※は校内研修と関わるもの)	評価〔評価方法〕〈評価の観点〉																							
つかむ	1	○関東地方の地形や気候の特色を理解するとともに、単元の学習課題を設定する。 単元の学習課題：なぜ、関東地方は他地域との結び付きが強いのだろう	○関東地方の主な地形や気候を教科書などで確認し、それぞれの都県の特産品や観光地などを調べたり、単元の学習課題を設定したりする。	○関東地方の各都県についての理解を深めるため、インターネット検索を用いて特産品や観光地などを調べさせる。 ※たくさんの情報を一望できるように、検索で得た情報はジャストジャンプの模造紙ツールに貼り付けておく。	○関東地方の地形や気候の特色を理解するとともに、疑問点や調べたいことをもとに単元の学習課題について話し合っている。〔発話分析〕〈関〉																						
	追究する	2	○東京には多くの人々や政治・経済の機関、交通網が集中し、外国との結び付きも強いことが理解する。	○東京を中心とする鉄道・高速道路・航空網を調べ、東京にある国際機関や外資系企業を調べる。	○後の学習活動で活用できるように、鉄道・高速道路・航空網については、調べた内容をまとめておく。 ※調査した内容に相関関係があるかどうかをわかりやすくするために、調べた内容はジャストジャンプの模造紙ツールに貼り付けていく。	○首都であり、多くの人が集まる東京の特色を理解している。〔記述分析〕〈知〉																					
3		○現在の東京大都市圏が形成されるまでの経緯を話し合い、整理する活動を通して、東京周辺が人口集中による都市問題を緩和するために交通網や住宅地、都市機能を整備してきたことを理解する。	○東京大都市圏の拡大の経緯やそれに伴う都市問題の対策について話し合う。	○都市問題やその対策について、整理・共有できるように、ジャストジャンプクラスの「模造紙ツール」を活用し、キーワードを「付箋紙」に記入させる。 ○都市問題と対策の関連がわかるように、「模造紙」に貼り付けた「付箋紙」を矢印で結び付ける。	○東京大都市圏の拡大の経緯やそれに伴う都市問題と対策について多面的・多角的に考察し、表現している。〔記述分析〕〈思〉																						
4		○東京大都市圏で商業やサービス業が発達する様子を、人口や交通網との関わりから理解する。	○東京周辺の娯楽施設やテーマパーク、東京から地方に出荷される物品などを調べ、交通網と関連付け、整理する。	○よりスムーズに調べ学習を進めるために、1時間目で使用した模造紙ツールの検索結果を見たとえで、10月に行われた東京校外学習での経験も踏まえながら調査対象を焦点化させる。	○資料から、東京は情報や娯楽を扱う産業や、多様な消費活動を支えるための商業や物流が発展していることを読み取っている。〔記述分析〕〈技〉																						
5		○京浜工業地帯と北関東工業地域のそれぞれで生産されているものについて、物資を運搬する交通網の種類と関連付けて考える。	○京浜工業地帯・京葉工業地域・北関東工業地域の出荷額の変化を調べ、その理由をグループで話し合う。	○各工業地帯・地域で生産されている品目の変化についての理解を深めるために、交通網や地形、地価などと関連付けながら考えるように促す。	○関東地方の工業の発展や移り変わりを、交通網の発展や市街地の拡大に着目しながら多面的・多角的に考察し、適切に表現している。〔記述分析〕〈思〉																						
6		○関東地方では、消費地に近い利点を生かして近郊農業がおこなわれていることを理解する。	○関東地方で生産が盛んな農産物の種類と主な生産地の分布を調べ、近郊農業の特色についてまとめる。	○大都市近郊で生産される農作物について、関心を高められるように、調べ学習の前にあらかじめ大都市で消費されそうな農作物を予想させる。	○資料から、東京大都市圏周辺では、近郊農業が行われていることを読み取っている。〔記述分析〕〈技〉																						
7		○関東地方の単元の学習課題について、レポートにまとめる。	○本単元で学習した内容を、白地図帳などに書き込みながら確認するとともに、思考ツールを利用し、単元の学習課題についてレポートにまとめる。	○単元の学習課題をまとめやすくするために、NHK for school「10min.ボックス」を視聴させる。	○さまざまな表現技法を用いて、単元の学習課題について解決したことをレポートにまとめている。〔記述分析〕〈思〉																						
単元の評価規準 ●〔社会的事象への関心・意欲・態度〕 関東地方の単元の学習課題の解決に向け、自然環境、交通・通信網、産業などを基に地域的特色について意欲的に追究している。 ●〔社会的な思考・判断・表現〕 関東地方の地域的特色をまとめ、説明する活動を通して、他地域との結び付きを中核として多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 ●〔観察・資料活用の技能〕 関東地方に関わる、地図やグラフ、写真等の資料を基に、関東地方の他地域との結び付きなどの地域的特色を具体的に読み取っている。 ●〔社会的事象についての知識・理解〕 関東地方の自然環境、交通・通信網、産業の発達とその影響についてまとめ、説明する活動を通して、関東地方の地域的特色を理解している。																											